



ガス患とされし我が子を救わんと十六年みとりし母ついにたおる(愛川ミヨさん近く母の病むことさえ知らずニコニコと母をみつめる三十六歳の幼児(愛川孝さんのこと)秋深くまためぐりくる命の日咲きにおう菊花に良人をはしのび
じいちゃんが可愛想だと敬老の日六つの孫描くその絵若くて
なぜ爆発したのか誰がマッチをすったのかよく問う孫にとまどいもあり
ホロホロとなく虫の音にひとり住む身のわびしくて夫と語る夜

短歌
一一・九を迎える

す。
京成守る会も、職場・地域の仲間と連携し、ともに力を高め合いながら、仲間を大切にして、共に闘っていきたいと思います。